

## ～ 子宮頸がんワクチン予防接種について ～

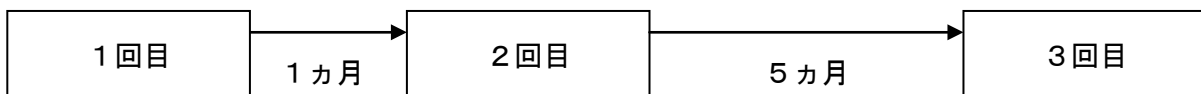
子宮頸がんは、発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）に感染することにかかる病気だといわれています。HPVは、特別な人だけが感染するのではなく、誰でも感染する可能性のあるウイルスです。ただし、感染したからといって、必ずがんになるわけではなく、ほとんどの場合は自然に排除されます。

子宮頸がん予防ワクチンは、HPV16型と18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。ただし、すでに感染しているウイルスをなくしたり、子宮頸がんを治したりすることはできません。また、この子宮頸がんワクチン予防接種は、保護者の希望により接種する予防接種法に基づかない任意接種です。強制ではありませんので、接種を希望される方は、事前に予診票の申請が必要となります。

### ◆ 接種回数と接種間隔 ◆

接種回数は3回（腕の筋肉内に注射）で、1回目接種から1ヵ月あけて2回目、2回目接種から5ヵ月あけて3回目を接種します。

接種間隔どおりに受けられない場合は医師に相談してください。



### ◆ 対象者および接種費用助成金額 ◆

対象者	接種回数	助成金額
（接種時に勝浦市に住所を有する） 小学5年生から高校1年生に相当する 年齢の女性	3回	・接種費用の全額を助成 ・生活保護受給世帯の場合、接種費用の全額 （「生活保護受給者証明」を医療機関に提示する）
（接種時に勝浦市に住所を有する） 高校2年生に相当する年齢の女性 *ただし、H23年9月30日までに1回 目の接種が終了している方		・接種費用の全額を助成 ・生活保護受給世帯の場合、接種費用の全額 （「生活保護受給者証明」を医療機関に提示する）

※注）小学5・6年生は平成23年7月1日以降に接種した接種費用について全額を助成します。

### ◆ 契約医療機関一覧 ◆

医療機関名	所在地	電話番号
塩田病院	勝浦市出水1221	73-1221
越後貫医院	勝浦市墨名672	73-3137
勝浦整形外科クリニック	勝浦市墨名485-252	70-1211
井出医院	勝浦市墨名778-13	73-5260
勝浦診療所	勝浦市松野448-1	77-0331
亀田クリニック	鴨川市東町1344	04-7099-1111

\*事前に予約を入れてください。

### ◆ 千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度 ◆

勝浦市以外（千葉県内）の医療機関で予防接種を希望される場合は、予約の際に、必ず「相互乗り入れ制度」に加入しているかを確認し、「相互乗り入れ制度をお願いします」と伝えてください。

相互乗り入れ制度に加入していない医療機関で接種する場合、自己負担となりますのでご注意ください。

また小学5・6年生は相互乗り入れ制度を利用できません。契約医療機関のみでの接種となります。

## 【 予防接種を受ける前に必ずお読みください 】

- ① 原則として予防接種は保護者同伴です。
- ② 市から配布している案内文をよく読んで、お子様の体調のよい時に受けてください。
- ③ いつもより具合は悪くないか、だるそうにしていけないか、気になる発疹はないかなど、体温以外のことにも注意しましょう。気になることがあるときは、医師に相談してください。
- ④ 予診票（2枚綴り）、健康保険証、母子健康手帳（持っている方）は必ず持参してください。
- ⑤ 予診票はお子様の健康状態を知るうえで、大切な情報となります。正確に記入しましょう。



### 次のような方は原則として接種できません

- ① 37.5℃以上の発熱がある方
  - ② 薬を飲むような病気にかかっている方
  - ③ 今までに受けた予防接種で、接種後30分以内に「吐き気」「嘔吐」「息苦しさ」「全身にひどいじんましんがでる」などの後、ショック状態になるような激しい全身反応（アナフィラキシー）があった方
  - ④ その他、医師が不相当と判断した方（アレルギーや喘息のある方は医師に相談してください）
  - ⑤ 熱性けいれん・てんかん等の発作があった方  
→ 最終発作より3カ月の期間をおいている場合、主治医の許可があれば接種が可能です。
  - ⑥ 1カ月以内に急性疾患（下痢・はしか・おたふくかぜ・水痘など）にかかった方  
→ 治癒後2～4週間があていければ接種は可能です。
- ※ 気になることがあるときは、医師の診察の際にご相談ください。

### 予防接種を受けた後には注意しましょう！

- ① 予防接種を受けた後30分間は椅子に座するなどして、医療機関でお子様の様子を観察しましょう。まれに失神したり、アナフィラキシー様症状（呼吸困難、血管浮腫、じんましんなど）がおこることがあります。
- ② 接種を受けた当日は、入浴をひかえる必要はありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。また、激しい運動は避けましょう。
- ③ 予防接種後2日以内に、発熱や頭痛、胃腸症状、注射部位に発赤、腫れ、筋肉の痛みなどがみられることがあります。通常数日間で治りますが、接種部位のひどい腫れ・高熱・ひきつけなどの症状があった場合は、速やかに医師の診察を受け、勝浦市役所介護健康課へもご連絡ください。
- ④ 不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。この間は健康状態に気を配り、生活面では無理をしないように気をつけましょう。

### ◆ 予防接種健康被害救済制度 ◆

ワクチン接種により、脳炎や神経障害などの重い副反応が生じた場合、任意の予防接種ですので、国の救済制度は受けることができません。

しかし、契約医療機関での接種で、対象年齢、接種間隔等に問題がない場合は、その被害の状況に応じ、勝浦市が加入している救済制度で対応します。

《問合せ先》勝浦市役所 介護健康課 健康管理係  
TEL 73-6614